

講義コード	1BD0840001
講義名称	プログラミング <春>
科目英文名	Programming
開講責任部署	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科
代表ナンバリングコード	BUSA2860
単位数	2.0
時間割	春学期: 火曜日 1 時限
講義開講時期	春学期

## 担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 清水 玄彦	月曜4限	hshimizu@andrew.ac.jp	あべのBDL 7I

授業形態	講義	実習	パソコン実習
------	----	----	--------

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。 小レポート/小テスト 宿題(演習問題、e-learning等)
---------------	--

講義・演習概要	本講義ではPythonを用いてプログラミングの基礎を学びます。 秋学期に開講される「データサイエンス応用」への連携を意識しつつ、主として統計分析に必要なプログラミングの手法を身につけることを目的とします。
学習（到達）目標	本講義を通じて ①Pythonによるプログラミングができるようになること ②Pythonのコードを解釈できるようになること ③データサイエンスの基礎知識を身につけることが期待されます。

## 講義・演習計画

回	内容
第1回	【対面】イントロダクション：Pythonの導入準備
第2回	【対面】数値演算、変数と関数
第3回	【対面】論理演算と条件分岐
第4回	【対面】繰り返し計算
第5回	【対面】関数による計算
第6回	【対面】ライブラリの使い方（1）NumPy
第7回	【対面】ライブラリの使い方（2）pandas
第8回	【対面】ライブラリの使い方（3）matplotlib
第9回	【対面】Turtleによるプログラミング（1）
第10回	【対面】Turtleによるプログラミング（2）
第11回	【対面】Turtleによるプログラミング（3）
第12回	【対面】Turtleによるプログラミング（4）
第13回	【対面】Turtleによるプログラミング（5）
第14回	【対面】Turtleによるプログラミング（6）
第15回	【対面】全体のまとめと到達度確認

## 成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	
レポート	100%
その他	

成績評価の方法（コメント）	複数回のレポート課題および講義内での理解度確認等を総合して評価します。
---------------	-------------------------------------

## テキスト

	著者	タイトル	教科書購入区分	ISBN	出版社	備考
1.	参考文献は講義内で適宜紹介します。					

事前および事後学習の指示	講義資料等を配布しますので、事前に通読して疑問点を明らかにしておいてください。 毎回、必ずコンピューターを持参してください。受講後の復習に重点を置くようにしてください。
その他備考（担当教員用）	進捗状況に応じて、講義内容が一部変更になる場合があります。
キーワード	Python、プログラミング、データサイエンス